2026年11月9日

各 位

会 社 名 フ ル テ ッ ク 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長
社長執行役員 COO 古野 元昭
（コード番号：6546 東証スタンダード 札証）
問 合 せ 先 取締役専務執行役員
管理本部長兼経営企画室長 田中 康之
（ TEL. 011－222－3572）

業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年３月19日に公表した2026年12月期の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

１．2026年12月期連結業績予想数値の修正（2026年１月１日～2026年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	14,000	600	630	400	74.52
今回修正予想（B）	13,450	190	270	190	35.95
増減額（B-A）	△550	△410	△360	△210	
増減率（%）	△3.9	△68.3	△57.1	△52.5	
（ご参考）前期実績（2025年12月期）	13,566	456	528	250	46.59

修正の理由

売上高につきましては、主に自動ドア関連事業及び建具関連事業の新規物件において、工期の長期化に伴い、短納期案件が減少したことに加え、当期に完工を見込んでいた一部物件の完工時期が翌期へずれこむことから、当初計画を下回る見込みです。

営業利益以下の各段階利益につきましては、経費削減の徹底により販管費は当初計画を下回るものの、建具関連事業における収益性の悪化に加え、利益率の高い自動ドア関連事業のリニューアル売上が減少したことにより売上総利益が減少し、当初計画を大幅に下回る見込みです。

なお、主なセグメント別の状況は以下のとおりであります。

（１）自動ドア関連事業（リニューアル部門）

当初はリニューアル売上高3,132百万円（前期比3.4%増）を見込んでおりましたが、前期を若干下回る見込みとなりました。売上高の減少に伴い、利益についても当初計画を下回る見込みです。

（2）建具関連事業

受注高は好調な推移により計画を上回る見込みであるものの、工期の長期化の影響により、当期に完工・売上計上となる物件が少ないことから、売上高は当初計画を下回る見込みです。また、利益につきましては、工期の長い大型赤字物件の増加により収益性が悪化したことを主因として、当初計画を大幅に下回る見込みです。

２．配当予想の修正について

	年間配当金		
	第２四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	10.00	24.00	34.00
今回修正予想		22.00	32.00
当期実績	10.00		
（ご参考）前期実績（2025 年 12 月期）	10.00	22.00	32.00

修正の理由

当社は、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ持続的な利益還元を通じて、中長期的に企業価値を高めていくことを基本方針としております。

今回の業績予想の下方修正を踏まえ、期末配当につきましては前回発表予想の１株当たり 24 円から２円減額し、22 円とすることといたしました。これにより、2026 年 12 月期の年間配当額は、32 円となる見込みです。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想と異なる可能性があります。

以 上